



<定点把握感染症>

疾患名	全国		山形県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~3週
	第2週	第3週	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減	第2週	第3週	増減		
インフルエンザ定点(定点医療機関数)	(45)		(10)				(10)			(4)			(9)			(12)						
インフルエンザ	54 0.01	1 0.02			▽	1 0.10		▽													2	
小児科定点(定点医療機関数)	(29)		(6)				(7)			(3)			(6)			(7)						
RSウイルス感染症	971 0.31																				0	
咽頭結膜熱	583 0.19	11 0.38	13 0.45	△		2 0.33		▽	3 0.43	2 0.29	▽			3 0.50	11 1.83	△	3 0.43				41	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1485 0.47	13 0.45	26 0.90	△		2 0.33	5 0.83	▲	7 1.00	14 2.00	△			3 0.50	5 0.83	△	1 0.14	2 0.29	△		58	
感染性胃腸炎	20898 6.65	467 16.10	529 18.24	▲		51 8.50	69 11.50	△	109 15.57	112 16.00	▲	9 3.00	17 5.67	▲	163 ◎27.17	178 ◎29.67	▲	135 19.29	153 ◎21.86	▲	1191	
水痘	301 0.10	3 0.10	6 0.21	△					1 0.14	4 0.57	△			1 0.17		▽	1 0.14	1 0.14			19	
手足口病	1034 0.33	5 0.17	3 0.10	▼		1 0.17	2 0.33	△	3 0.43	1 0.14	▽						1 0.14			▽	15	
伝染性紅斑	42 0.01	1 0.03		▽										1 0.17		▽					1	
突発性発しん	1012 0.32	10 0.34	14 0.48	△		2 0.33	1 0.17	▽	2 0.29	1 0.14	▼			4 0.67	5 0.83	▲	2 0.29	7 1.00	△		35	
ヘルパンギーナ	226 0.07	6 0.21	2 0.07	▼		2 0.33		▽	4 0.57	2 0.29	▼										15	
流行性耳下腺炎	88 0.03		2 0.07	△											1 0.17	△		1 0.14	△		2	
眼科定点(定点医療機関数)	(8)		(1)				(3)			(1)			(1)			(2)						
急性出血性結膜炎	2 0.00																				0	
流行性角結膜炎	126 0.18	2 0.25		▼					2 2.00		▽										6	
基幹定点(定点医療機関数)	(10)		(2)				(2)			(1)			(2)			(3)						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6 0.01	1 0.10		▽		1 0.50		▽													1	
クラミジア肺炎	1 0.00																				0	
マイコプラズマ肺炎	4 0.01																				0	
細菌性髄膜炎	5 0.01																				0	
無菌性髄膜炎	6 0.01																				0	

◎:警報レベル ○:注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核					1	※第2週追加報告分。
腸管出血性大腸菌感染症				2		型別:O91 VT1(1)、O103 VT1(1)。
レジオネラ症		1			1	※内、第2週追加報告(1)。
後天性免疫不全症候群	1					※第2週追加報告分。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱		3	5	3					2						13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	2	5	1	3	5	2	2	2	3			26
感染性胃腸炎	3	36	111	96	80	43	31	24	22	17	15	33	3	15	529
水痘			1					2	2			1			6
手足口病			2	1											3
伝染性紅斑															0
突発性発しん		6	4	3		1									14
ヘルパンギーナ			1	1											2
流行性耳下腺炎								1		1					2

<トピックス>

感染性胃腸炎の報告が**増加**しています！

第3週の感染性胃腸炎の県平均定点当たり報告数は18.24人で、前週より2.14人増加しました。すべての保健所で、報告数が前週より増加しており、置賜保健所と庄内保健所で警報レベルとなっています。

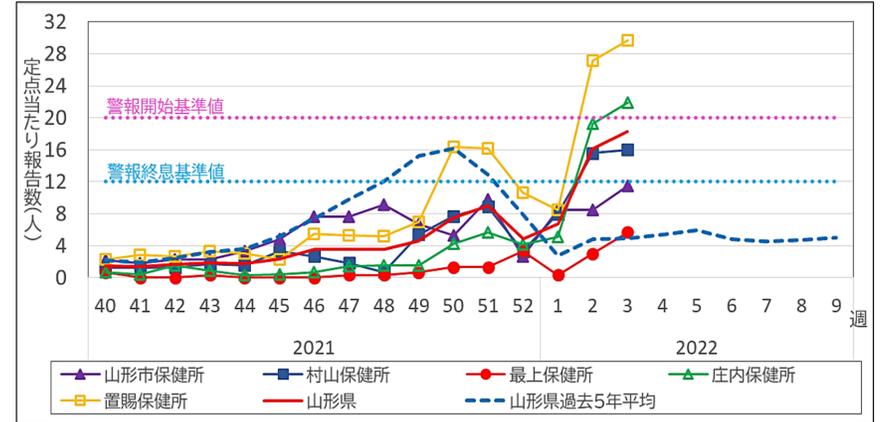


図 感染性胃腸炎年別定点当たり報告数(山形県)

< 令和3年12月 月報 >

2022年1月26日 発行

疾患名	山形県		山形市		村山		最上		置賜		庄内		累積(県)
	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 15	15	6	4			1	3	1	3	7	5	182
	定点当り 1.50	1.50	2.00	1.33			1.00	3.00	0.50	1.50	2.33	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 9	9	1				1		4	4	3	5	111
	定点当り 0.90	0.90	0.33				1.00		2.00	2.00	1.00	1.67	
尖圭コンジローマ	報告数 3	4		1			3	2		1			26
	定点当り 0.30	0.40		0.33			3.00	2.00		0.50			
淋菌感染症	報告数 5	4	2	1			1	2			2	1	45
	定点当り 0.50	0.40	0.67	0.33			1.00	2.00			0.67	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 4	4	3					1		1	1	2	46
	定点当り 0.40	0.40	1.50					1.00		0.50	0.33	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 16	11	4	4	2		1		1	2	8	5	151
	定点当り 1.60	1.10	2.00	2.00	1.00		1.00		0.50	1.00	2.67	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数												1
	定点当り												

ノロウイルスの予防のポイント

①「手洗い」をしっかりと

ノロウイルス感染を防ぐために最も大切なのは**手洗いを徹底**することです。トイレやおむつ交換、外出の後、調理や食事の前には必ず手を洗いましょう。
石けんを使って時間をかけて(15秒以上)洗い、流水でよく洗い流してください。



②「人からの感染」を防ぐ！

感染した人の便やおう吐物には大量のウイルスが含まれている場合がありますので、取り扱いに注意しましょう。
山形県では、1～3歳の報告が特に多くなっています。感染しても症状があらわれない人もいますので、おむつを取り扱う際は、ウイルスが含まれているものと考えて、適切に処理しましょう。

ノロウイルスに効く消毒液の作り方

ノロウイルスの消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。市販の**塩素系消毒剤**(次亜塩素酸ナトリウム約6%)を**水で希釈**して消毒液を作ることができます。

水で希釈

おう吐物や便が付着したものの消毒 → **60倍希釈**

ドアノブなど、手に触れるものの消毒 → **300倍希釈**